

## 令和4年度第3回加古川市子ども・子育て会議 議事要旨

- 【日 時】 令和5年2月6日（月）13時00分～14時20分
- 【場 所】 加古川市役所北館（旧青少年女性センター）4階大会議室
- 【出席委員】 松田会長、下村副会長、稲田委員、今井委員、北野委員、千堂委員、高瀬委員、高橋委員、三柴委員、宮井委員（10名）
- 【会議次第】
- 1 開会
  - 2 報告事項  
(1) 第二期加古川市子ども・子育て支援事業計画～中間見直し～（案）について
  - 3 報告事項  
(1)（仮称）市立加古川中央こども園の建設の検討について
  - 4 その他
  - 5 閉会
- 【配付資料】
- 資料1 令和4年度第3回加古川市子ども・子育て会議 座席図
- 資料2 第二期加古川市子ども・子育て支援事業計画～中間年の見直し～（案）に関するパブリックコメントの実施結果の概要
- 資料3 第二期加古川市子ども・子育て支援事業計画～中間年の見直し～（案）に関するパブリックコメント 提出意見と市の考え方
- 資料4 第二期加古川市子ども・子育て支援事業計画～中間年の見直し～（案）
- 資料5 （仮称）市立加古川中央こども園の建設の検討について

（参考）

- ・事務局出席者名簿
- ・（仮称）市立加古川中央こども園の建設予定地周辺地図（資料5別紙）

議事要旨

1 開 会	
2 議 事	<p>(1) 第二期加古川市子ども・子育て支援事業計画～中間見直し～(案)について資料2から資料4により説明</p> <p>委員 資料3について、2点質問がある。1点目は、児童クラブの質に潜在的な不満があるように感じた。意見の中に「クラス崩壊が起こっていると度々耳にする」とあるが、市はクラスの運営状況を把握できているのか。また、もしクラス崩壊が起きた場合、どのような指導を行うことになるのか。</p> <p>委員 2点目は、教育・保育の質に関する部分である。園児の安全を守るために指導・助言を行っていくことは非常に大切なことだと思う。指導・助言以外に、ICT やスマートシティに絡めた、先進的な方法をとっていたら教えてほしい。</p> <p>事務局 1点目について、令和2年度以降、児童クラブ推進員を4名配置していたが、令和4年度より7名に増員し、毎日児童クラブを巡回することにより、日々の運営状況を把握している。基本的には、学校現場と同様の対応を求められていると認識しており、推進員には、長年学校現場で培った知識や経験がある学校長等を任用し、日々児童クラブの状況を確認することにより、運営状況を把握している。</p> <p>クラス崩壊は発生していないが、市ホームページ等でこの意見を確認して不安に感じる保護者もいると思うので、継続的に児童クラブの状況を把握しているが、このような意見が出ることはないよう、再度徹底して運営していきたい。</p> <p>指導に関しては、まずは、事実確認をしっかりと行うことが大事だと考えている。</p> <p>例えば、子ども同士のトラブルにおいて、決めつけることなく、子ども一人ひとりの意見をしっかりと聴き、子ども達が納得できるような形で解決していくよう努めている。職員に対しては、保育の考え方や指導方法をしっかりと確認するとともに、指導方法について悩んでいる職員がいたら、推進員が相談にのり、適切な指導が行えるように適宜フォローしている。</p> <p>事務局 2点目については、現在、午睡チェックや登降園管理システムがあるが、通園バスの安全装置システムについて国から補助金が出るのが決まったので、市としても補助して整備を進めていきたい。</p> <p>今後、具体的に何が ICT 化できるのか検討していく必要があると思うが、現在は、毎月の法人連絡会やメールを通じて事故や事件を共有することで、園児の安心・安全につながっているところである。</p> <p>委員 市が色々対策していることは分かった。ただ、パブリックコメントでこのような意見が出るということは、市の子育て支援に関する PR が上手くできていないからだと思う。例えば、通園バスの問題が起こった際にも、広報やホームページ等で市</p>

<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>の対策をPRすれば市民も安心すると思う。子どもの安心・安全はいくらPRしても足りないと思うので、やっていることをもっとアピールしてほしい。</p> <p>パブリックコメントは今回の審議を経て、3月中に一般公開する予定か。</p> <p>お見込みのとおり、3月中に一般公開する予定である。</p>
<p>3 報告事項</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p>	<p>(1) (仮称) 市立加古川中央こども園の建設の検討について 資料5により説明</p> <p>既に統廃合された園の地域の方から、統廃合そのものに関する意見をいただいているので、この場でお伝えしたい。1点目は、もう少し市民全体が統廃合を前向きに捉えて納得できるよう、市民との対話の機会を増やしたり、丁寧に説明したりすることが必要ではないかという意見である。例えば、両荘幼稚園の廃園の場合、「要望や意見はどのように受けとめられたのかわからなかった」、「説明会の後、どのように閉園決定がされたのかよくわからなかった」という意見があった。</p> <p>また、幼稚園や小学校の話になるが、私の住んでいる上荘地域では、教育や地域連携に目を向けてもらうきっかけづくりとして、有志の保護者が意見交換会を企画する動きもある。そして、令和6年度の両荘みらい学園の開校に向け、地域住民には新たな気持ちで取り組みたいという機運もある。それに対して、開校に関する説明会の回数や公開される情報は、正直少ないと感じる。</p> <p>私自身、統廃合は教育・保育の質の向上を地域ぐるみで考えるいい機会であると考えているので、今後、行政、教育関係者、保護者、地域住民のそれぞれの思いを交換できる場をもう少し増やしていただきたい。</p> <p>両荘幼稚園の場合、休園について、説明会を行い、令和3年度末に廃園決定を行った。廃園にいたるまで何度か説明を行ってきたが、対話の機会が十分でないと思われたことについては反省点と認識している。それを踏まえ、西神吉幼稚園の廃園は、説明会で出た意見について、再度検討し、内容を変更した上で、説明会を行い、その場にいる保護者に理解していただいた。</p> <p>また、令和8年度に開校予定の加古川中央こども園についても、今回の子ども・子育て会議等でお知らせしているように、今後もできるだけ早く情報をお知らせすることで、様々な意見を伺う場を広く持ちたい。</p> <p>両荘みらい学園については、開校準備委員会等で意見を聞く場を設けており、開校準備だより等を通じて地域住民と情報共有しているところである。今回の意見については情報発信や意見をうかがう機会を増やすことができるか検討させていただきたい。</p> <p>2点目は、昨今報道が相次ぐ不適切保育に関連し、私の周囲から意見をいただいた。市内の園において、人手不足が理由でスマホを見せて子どもを放置したり、配</p>

	<p>慮が必要な子どもが行事に参加させてもらえないなどの不当な扱いを受けているという話を聞いた。私立は柔軟性がある一方で、保育の質に差が生じやすいのではとの意見もあった。また、配慮が必要な子どもについては、公立は福祉的観点で一定の理解がある一方、私立は、園によって知識・理解にばらつきがあり、保護者の思いを園に聞き入れてもらえず、結局、転園に至るケースがあったと聞いた。すべての私立がそうであると言えないが、そのようなケースを受け、統廃合により公立園が減ることに対し不安を感じる方もおり、公立園の数を確保してほしいという意見がある。</p> <p>そこで質問だが、園によって配慮が必要な子どもへの対応に差があることについて、市は把握しているのか。また、教育・保育の質の向上のための研修について、研修対象者の範囲や研修内容を伺いたい。さらに、研修以外で、公立・私立ともに教育・保育の質が確保されるための現状の対応や今後の課題を伺いたい。</p> <p>事務局 配慮が必要な子どもへの園の対応不足については、おっしゃっていただかないとわからない部分がある。現在は、保護者からの電話・スマイルメール等での連絡で把握し、必要に応じて現地調査等を行っているところである。また、細かい配慮の部分は、メールや研修の場で各園へ連絡している。</p> <p>また、研修については、一般的にはキャリアアップ研修を行っているところだが、配慮が必要な子どもの部分について内容強化も含め、検討していきたい。</p> <p>研修以外においては、発達支援が必要な園児や療育センターに通う園児について園から相談があれば、療育センター等が園に訪問し、その園児の様子を実際に確認した上で適切に助言しているところである。配慮が必要な子どもに対する支援のニーズは高まっていると思うので、今回のご意見を参考に検討を進めていきたい。</p> <p>事務局 私立園のほとんどは適切な保育を提供されていると思うが、市全体の教育・保育の質のさらなる向上のため、今後、加古川中央こども園を教育・保育の拠点として位置づけたいと考えている。その中で、教育・保育に携わる職員向けの研修を含めた検討を行い、質の向上を図っていきたい。</p> <p>委員 既に対策をされていることもあると思うし、今後検討していただけるということを知って安心した。保育士の配置や処遇改善、監査については、国の制度が大きく関係していると思うが、その中で市ができることを何かしていただくとよりよくなるのではと思う。なかなか難しいと思うが、保護者は安心して園を選び、通える環境を望んでいるので、お願いしたい。</p> <p>委員 私の子どもが通う園では、運動会やお遊戯会の時、配慮が必要な子どもは横に職員が付き添ってサポートしているのを見るが、どこの園にもそのような体制があるというわけではないと聞く。配慮が必要な子どもに対応する保育士の配置に加点がつく等の制度があったらと思う。</p> <p>加古川中央こども園が教育・保育の拠点となるとのことだが、スマートこども園</p>
--	---

	<p>として社会実証実験や研究発表会等をどんどん行う場となってほしいと思う。また、近隣市町が羨むようなインクルーシブ教育としての拠点にもなってほしいし、インクルーシブ遊具も取り入れてほしい。</p> <p>その一方、このような大規模な園ができることで、近隣の私立園の経営を圧迫してしまわないか懸念もしている。市は、待機児童問題の解消のため、私立園に協力を求めてきたと思うので、手のひらを返すようなことはあってはならないと思う。</p>
事務局	<p>ICT化については、今後何ができるのかを含め、意見を参考にしながら検討したい。インクルーシブ教育・保育についても、今後必要性が高まると思うが、私立園で受け入れが難しい子どもを公立園が率先して受け入れできるような体制を目指したい。</p> <p>また、加古川中央こども園の定員数 240 名程度と設定しているが、これは現時点で見た子どもの減少を考慮した数である。今後、市全体の状況を見ながら、調整弁として定員数を設定していくことになる。</p>
委員	<p>私立保育園は、それぞれ独自の保育理念を持っている。ただ、配慮が必要な子どもについては、療育手帳等による証明を持つ園児のみならず、グレーゾーンの園児もどの園も放置することなく保育していると思う。実際、私の園も各年齢に加配の保育士を置いており、他の園も定数よりも多く保育士を配置していると思う。そういった対策をしないと、実際に他の園児たちの保育が成り立たなくなることがあるため、そこは安心していただきたいと思う。</p> <p>また、園によっては、療法士など発達支援ができる職員を置いているところもある。私の園も看護師として今年配置した職員がその資格を持っている。ちょっと気になる園児には、その職員が乳幼児健診での様子を保護者から聞き取りしたり、園での様子を保護者へ伝える際にその職員も入ったりするなどして、小学校入学までに上手く適用できるように早期から保護者と一緒に考えながらサポートしている。小学校入学に向けた対応についても、おそらく他の園でも同様のことをされていると思う。</p> <p>あと、現在、市や県保育協会において、キャリアアップ研修としてたくさんの研修が用意されている。幼稚園の先生は午後の時間に余裕があるが、保育園や認定こども園の 2・3 号認定児の先生は午後も保育があるので、代わりに先生を入れるなど工夫して時間を作りながら、キャリアアップ研修を受講している。また、認定こども園においては、子どもたちに差ができないよう研修を積んでいることと思う。市や県と足並みそろえながら、教育・保育の質の差ができないよう対応しているところである。</p>
委員	<p>クラスに配慮の必要な子どもがいることで、クラス全体の保育にプラスに働くということもある。また、配慮が必要な子どもへよりよい保育を提供するには、対応する保育士等をたくさん配置するという考えもあるが、研修を積んでその子どもに合った寄り添い方が必要となることがあると考える。</p>

	<p>また、できるだけクラス全体にその子どもの特性を知ってほしい保護者がいれば、そっと子どもを見守ってほしい保護者もいると思う。クラス全体がバラバラにならないようにとか、クラスが育ち個も育つことを考えているのは、公立・私立関係なく、どこの教育・保育施設も同様だと思う。</p> <p>私の園でも、何かクラスで問題が起こった時は対面で保護者とお話しし、保護者の考えや思いは多種多様な中、理解を求めるなどの対応に努めている。</p> <p>また、公立・私立の差の解消については、加古川市の学校園連携ユニット 12 が非常に役立っていると思う。ユニット内の学校園が公立・私立関係なく集まり、公立学校の先生の考え方や取り組み等を理解することができる。学校園連携ユニット 12 は今後も続いてほしい。</p> <p>今後も、地域に開かれた、地域のための学校園となれるよう、また加古川市で育った子どもが人としての歩みが分厚い深いものだと感じてもらえるような教育・保育をしていきたいと思う。</p>
<p>4 その他</p>	<p>会長 今年度最後の開催となるので、各委員から発言をいただきたい。</p> <p>私は、会議を通じて、今後は質の確保がますます必要になると思った。様々な個性を持った子どもたちが一つの園や学校に集まってくるわけだが、その個性をどう伸ばしていくかがより重要となる。私も大学教員として保育士や幼稚園教諭を養成しているので、より質の高い保育士・幼稚園教諭を養成したいという思いを改めて一新した。</p> <p>副会長 私は、市の委託により子育てプラザを運営している。子育てプラザの利用者は在宅で子育てしている方がほとんどだが、子育てに対してストレスやしんどさを感じる方が増えているように思える。在宅で子育てしている方の場合、2人目以降が生まれて上の子どもを保育園に預けたくても、仕事をしている等の理由がないので難しいのが現状である。以前、国が無園児対策の検討を始めると新聞で見たが、市が一番に手を上げて取り組めば、保護者は助かると思うし、市の PR にもつながると思う。</p> <p>また、市内にお産を受け入れる病院が少ないため、市外で出産するという声も聞く。市内にお産を受け入れる病院の情報がもしわかれば教えてほしいと思う。</p> <p>行政や地域の皆様を巻き込みながら、楽しく子育てができるまちを目指して頑張っていけたらと思うし、子ども・子育て会議でもそのような話ができればいいなと思っている。</p> <p>委員 コロナが落ち着き始めているので、園で「なかよし広場」を再開し、未就園の子どもに遊んでもらったり、ちょっとした保育を提供したりしている。入園募集の時期が来ると、保護者から「働いてないところに入れないんですね」と言われ、その度に心苦しい思いでいる。私は常々1号と2号なんて関係ないと感じており、3</p>

	<p>歳児以上児と3歳児未満児の2つに分けたらいいのではと思う。3歳児以上児は、一律の時間と料金で保育園・幼稚園のどこかでみてもらえる制度になるよう、誰かが国会とかに言ってくれないかなと思っている。加古川市の子どもたち、日本の子どもたちが複雑な制度に縛られることなく、伸び伸びと通えるようになったらと思う。</p>
委員	<p>私の子どもが、学校に行けなくて暇だから夏休みが大嫌いだと聞いて、いい環境に育っているのだなと今回改めて思った。</p> <p>また、先生の質の話も今回たくさん出ていたが、子育てしやすい加古川市だけでなく、先生が働きたいと思える加古川市を目指していただきたいと思う。</p>
委員	<p>昨日、地域の子どもたちが作ったランプ等を公民館で展示する「光のひろば」というイベントを開催し、大盛況であった。地域住民のみならず、中・高校生も飾っていただき、訪れた市長も「高校生が関わっている」とお話に触れていただいた。子どもたちを育てるという観点からも、素晴らしいイベントを開催できたと思っている。</p> <p>また、他の委員のお話にもあったが、私も学校園連携ユニット12は大事だと思う。別府町では、学校園と地域住民が一緒になって、子どもたち・地域住民たちのことを考える「教育懇話会」を長年続けてきた。</p> <p>私は、平成14年に別府西小学校が誕生した際にPTAに関わった。小学校の名前や校歌、校章を地域住民の方に広く募集した。校章は中学校の美術部の子どもたちもたくさん応募したし、取り組みの中で、自分たちの小学校という思いを皆さんで醸成できたと思う。今後も、地域住民の方を巻き込んで、自分たちのふるさとを一緒に作り上げていきたいと思っている。</p>
委員	<p>子ども・子育て会議の委員になり、意識的に市内・市外でやっていることを見るようになり、教育・保育などについて保護者と話す機会が増えた。また、自分が想像している以上に、保護者や地域住民が教育・保育に関心を持っていることを知った。私が住む両荘地域においては、この1年統廃合でいろいろあったが、地域住民は関わりたいと思っていると同時に、学校の先生がもっと仕事がしやすく、負担が軽減する環境を望んでいる。そういう気持ちを持つ地域住民と市のつながりが強くなればいいなと思う。</p> <p>また、協同的探究学習やアクティブラーニングという言葉も最近出てきた。私自身は学ぶことが好きで、加古川市の子どもたちも学ぶ楽しさを感じながら学校や園に通ってほしいと思うし、自分のふるさとが好きで子どもに育ててほしいと思う。これからの協同的探究学習を楽しみにしているし、私自身にどういうことができるかを考えていきたい。</p>
委員	<p>会議を通じて様々な取り組みをされていることを知ったが、市民にそれが伝わっていないと思うので、PRを何度でもどんなところでもやってほしいと思う。</p>

	<p>また、私が子ども・子育て会議の委員になった時は、待機児童の解消のためとにかく量を増やすという時代だったが、待機児童の解消のめどが立ったと思うので、今後は質の向上を目指して取り組んでほしいと思う。他の委員が言っていた無園児の問題については、東京かどこかの NPO 法人から国への政策提言で、待機児童をゼロにした上で、空いた保育園や幼稚園等で無園児を預かるというものがあったと思う。そういうのも活用してほしい。</p> <p>あとは、ICT などを活用するなどして、保育士がいきいきと楽しく働ける加古川市であってほしい。保育士がいきいきと楽しく働いていないと、子どもは楽しいと思わないと思うので、質の向上という意味でもどんどん取り組んでほしい。</p> <p>私自身は、こんにちは赤ちゃん訪問の中で子育てプラザを紹介いただき、子育てプラザで良い体験させてもらい、人とのつながりを感じることができた。志がある NPO 法人への支援もしてほしいと思う。</p>
委員	<p>私は、加古川市で楽しく育児できて良かったと思う。会議を通じて市の取り組みを知ることができたり、会議でこんな話があったよとお母さんにお伝えしたり、疑問に思ったことも会議に参加して納得できたりと、良い時間を過ごしている。また、自分たちに何ができるかを考えること、子ども自身も自分に何ができるかを考えることが、加古川市が良くなるきっかけにつながると思う。</p> <p>質の向上のための研修について、現在もこれからも取り組まれることがわかったので、親として何ができるか考えていきたい。会議に参加できて感謝しているし、これからも楽しく育児をしていきたい。</p>
委員	<p>私は、コロナ禍になってすぐ出産したため、家と実家の往復でほぼ引きこもり状態だった。このままでは頭がおかしくなると思って、子育てプラザに駆け込んだら、とても歓迎して下さったのが本当にうれしかったし、実家以外の心の拠り所ができたと思う。</p> <p>加古川市は大好きだが、待機児童ゼロという割に入園できない状況だと感じる。会社に就職したいという気持ちがあっても、面接に行ったら「保育園が決まってから来てください」と言われてしまう。待機児童ゼロなので入園できるかもと期待しても、やはり難しい現実がある。そんな中、他の委員の「1号と2号なんて関係ない」という言葉に感動した。実現できれば、世の中のお母さんは喜ぶと思うし、働く方が多くなったらその分税収も増えると思うし、メリットしかない気がする。</p> <p>無園児問題もあると思うが、社会に出たいお母さんやお父さんの力に少しでもなりたいし、前向きな社会づくりに少しでも貢献できたらと思う。</p>
委員	<p>会議のオンライン開催が検討されたこともあるが、対面で行われる緊張感の中で、一人一人とのつながりを感じるこの時間が非常に貴重を感じる。教育・保育も ICT 化が進む中だが、アナログや対面も大事にしたいと思っている。</p> <p>他の委員が言っていた「1号と2号なんて関係ない」ということも私も思うところであるが、なかなか今の制度の中では難しいところである。公立もそうだと思う</p>



	<p>が、私立の保育園・幼稚園は子どもたちが来てくれないと運営自体が厳しくなる。そんな中、園でできることは、教育・保育の質であり、一人一人の子どもたちに寄り添うこと、また管理職の部分においては、先生たちが子どもたちに正面から教育・保育ができるようフォローすることであると思う。私立の幼稚園では「こどもがまんなか PROJECT」といって、子どもを真ん中に置いて教育しようということが言われているが、それはどの教育・保育の現場でも同じことだと思う。</p> <p>教育・保育を受けるなら加古川市、先生になるなら兵庫大学みたく、加古川市の中で良い循環が起きるように、行政とともに私も頑張っていきたい。</p>
4 閉 会	